

石綿に関する健康管理等専門家会議報告書骨子（案）

I 序論

- (1) 背景：過去の石綿の使用量とK事業場の健康被害の発生について
- (2) 本専門家会議について：
- (3) 検討状況：

II 検討事項

1 住民の不安解消

- (1) Q&Aの公表及び相談窓口の役割
- (2) 臨時相談窓口・講演会の実施
- (3) 簡易自記式問診票の導入

2 住民の健康管理について

- (1) 健康管理における検診の位置づけ
 - 1) 検診の目的
 - 2) 検診の有効性：健診に伴うメリットとデメリット
- (2) 住民に対する検診の考え方
 - 1) 石綿暴露の機会：ばく露の機会にはどのようなものがあるか
 - 2) 検診対象者の選定：上記、ばく露をどのように把握するか
 - 3) 問診による石綿ばく露調査：問診による把握の仕方

(3) 具体的な健診の進め方

- 1) 石綿による環境汚染が疑われる地域を選定
- 2) フローチャートに沿った検診を実施
- 3) 専門家による読影
- 4) 結果についての科学的な評価

(4) 地域および事業場における検診の実施状況

- 1) 熊本県旧松橋地区における取り組み
- 2) 他の自治体および企業の住民検診について

3 石綿健康被害の実態調査について

- (1) 現在までの石綿健康被害の把握状況
 - ・ 労災認定数
 - ・ 人口動態統計の死亡者数
 - ・ 経済産業省から発表されている職業別の死亡者数

(2) 今後実施される予定の実態調査について：

- 1) 人口動態統計を利用した中皮腫の死亡者調査
- 2) 現在治療中の中皮腫患者の情報収集

4 課題

- 1) 事業場が過去に使用していた石綿の種類と使用量の把握
- 2) 石綿関連疾患を診断できる医師の育成、研修
- 3) その他